

【変更後】

【別添】

宮城県地域養殖復興プロジェクト計画書
(雄勝町雄勝湾支所伊達のぎん生産者部会)

地 域 養 殖 復 興 プロジェクト名称	宮城県中部地区養殖復興プロジェクト		
地域養殖復興プロジェクト運営者	名 称	宮城県漁業協同組合	
	代表者名	代表理事理事長 阿部 力太郎	
	住 所	宮城県石巻市開成 1 番 2 7	
計 画 策 定 年 月	2 4 年 3 月	計画期間	平成 2 4 年 4 月～ 平成 2 6 年 8 月 * 平成 2 4 年 4 月から 3 漁期 の収穫・販売が完了する平成 2 6 年 8 月を想定

* 下線部分が変更箇所

1 目 的

雄勝湾支所は、宮城県中部に位置し、カキ・ホタテ・ギンザケ等の養殖が盛んで、当該地域の主力産業になっている。また、志津川支所は、宮城県の北部に位置し、カキ・ホタテ・ワカメ・ギンザケ等の養殖が盛んで、当該地区の主力産業になっている。しかしながら、東日本大震災に伴う、津波により、養殖施設及び水産物並びに陸上の養殖施設は壊滅的な被害を受けた。そのため、当地域の主要養殖であるギンザケ業者の「伊達のぎん」グループの生産者のうち、雄勝湾支所の3経営体と志津川支所志津川地区の1経営体が合同で共同体を組織し、共同による養殖資材の導入、同じ餌飼料の導入で、生産管理及び品質管理の徹底を図る。また、給餌量の適正化等を通じて持続可能な養殖漁場を作り漁業経営の安定を目指す。

2 地域養殖復興プロジェクト参加者等名簿

○ 宮城県中部地区養殖復興協議会

	所 属	役 職	氏 名
養殖関係	宮城県漁業協同組合	理事	佐藤 徳弥
養殖関係	宮城県漁協石巻総合支所	運営委員長	丹野 一雄
養殖関係	宮城県漁協石巻総合支所	支所長	渥美 武義
地方公共団体	宮城県東部地方振興事務所 水産漁港部	部長	山岡 茂人
地方公共団体	石巻市産業部水産課	課長	勝亦 睦男
地方公共団体	女川町水産農林課	課長	武山 欣一郎

○ 宮城県漁協雄勝湾支所伊達のぎん生産者部会

	所 属	役 職	氏 名
養殖関係	宮城県漁協雄勝湾支所	運営委員長	阿部 賢市朗
養殖関係	宮城県漁協雄勝湾支所雄勝湾 地区伊達のぎん生産者部会	部会長	阿部 悦朗
養殖関係	宮城県漁協雄勝湾支所雄勝湾 地区伊達のぎん生産者部会	副部会長	末永 陽市
地方公共団体	宮城県東部地方振興事務所 水産漁港部	水産振興班 技師	杉本 晃一
地方公共団体	石巻市産業部水産課	課長補佐	及川 伸悦

3 震災前の養殖業の概要

雄勝湾支所は、宮城県中部に位置し、リヤス式海岸特有の地形を利用し、ギンザケ・ホタテ・カキ等の養殖が盛んな地域であり、ギンザケ養殖には、7 経営体が従事し、1,227 トン、512 百万円の水揚げとなっていた。

また、今回、雄勝湾支所伊達のぎん生産部会に参加する志津川支所は、ギンザケ養殖が初めて行われた場所で、志津川支所は志津川地区、戸倉地区と分かれており、ギンザケ・カキ・ホタテ・ワカメ等の養殖が盛んで、志津川地区のギンザケは 1,204 トン、528 百万円の水揚げがあった。

・ 震災前の施設等の状況

施 設 名	所有者（個人・共同利用の別）	規 格	施設数
養殖施設	個人所有	生け簀式 (8.0m×8角形) 生け簀式 (9.0m×8角形) 生け簀式 (7.0m×8角形)	5 台 (2 台／人×2 人) (1 台／人×1 人) 1 台 (1 台／人×1 人) 3 台 (3 台／人×1 人)
陸上施設	個人所有	冷凍庫 フォークリフト	1 台 4 台 (1 台／人×4 人)
作 業 船	個人所有 共同利用（個人） 志津川地区 個人所有	① 10トン未満船漁船 ② 10トン未満船漁船 ③ 船外機船	① 3 隻 ② 1 隻 ③ 6 隻

4 被災状況

※ 被災の内容等の情報を記載

	数量及び金額	被災内容
養殖施設	9 台 40, 176 千円	流失
陸上施設	1 基 1 千円	流失（冷凍庫）
作業船	10 t 未満 3 隻 24, 600 千円 船外機船 6 隻 2, 300 千円 船外機 1 基 450 千円	流失
養殖生産物	440 トン 220, 000 千円	44 万尾平均 1 kg / @ 500

5 計画の内容

(1) 共同化の取組

以下の取り組みを参画する養殖業者共通の取り組みとする。

① 伊達のぎん養殖の基本

- ・ 生産指導を遵守して継続的生産が図られるよう、作業等の協力を積極的に行い養殖作業に最大限の努力をする。
- ・ 出荷計画、及び販売方法について遵守し成魚の販売は漁協に一任する
- ・ 稚魚は、漁協が供給したのみで養殖に従事する
- ・ 餌料は、日本農産工業㈱が製造する「ぎん太郎」とする

② 給餌の適正化

他の漁場との情報交換等を密にし、日々の水温測定を基に寒冷時期には隔日給餌を行い。魚の成長を考慮した給餌方法を行い、飼料効率を良くすることにより飼料費のコストダウンを図る。

③ 品質管理の徹底

鮮度保持の徹底を図り、消費者に高品質で安全・安心な魚を供給できる出荷体制を構築する。

④ 施設の共同利用化

雄勝地区では、ギンザケ養殖に必要な餌の保管に、宮城県水産業共同利用施設復旧支援事業を活用して、飼料の保管管理を実施する。

志津川地区では、海上養殖施設は、漁協が整備した共同利用施設を使用する。

(2) がんばる養殖復興支援事業の活用

- ・ 事業実施者：宮城県漁業協同組合
- ・ 生産契約先又は契約養殖業者名：別紙①通り
- ・ 実施年度：平成24年度～26年度
- ・ 取組みスケジュール

	期間	23年度	24年度	25年度	26年度
検討期間	23年10月～24年3月	-----			
事業期間1	24年4月～24年8月		_____		
事業期間2	24年9月～25年8月		_____	_____	
事業期間3	25年9月～26年8月			_____	_____

(3) 施設復興計画

施設名	所有者 (個人・共同の別)	規格	震災前	復興 1年目	2年目	3年目	活用する事業名
養殖施設	個人	生け簀式 (使用サイズは別紙①)	生け簀式 (使用サイズは別紙①)	雄勝 6台	雄勝 6台	雄勝 6台	養殖施設災害復旧事業
	共同利用		は別紙①) 9台	志津川 2台	志津川 3台	志津川 3台	水産業共同利用施設復旧支援事業
陸上施設	雄勝湾 共同利用	シート式 (8m×13m×高5m) 保管庫		1基	1基	1基	宮城県水産業共同利用施設復旧支援事業(2次)
	個人	冷凍庫	1基	1基	1基	1基	なし
	志津川 地区			なし	なし	なし	
作業船	①個人	①10トン 未満船漁船	3隻	1隻	1隻	1隻	共同利用漁船等復旧支援対策事業
	②共同		1隻	3隻	3隻	3隻	
	②個人	②船外機船	6隻	4隻	5隻	5隻	

(4) 生産量及び経営体数

項 目	震災前	復興1年目	2年目	3年目
生産量 (トン)	<u>6 5 2</u>	5 0 6	<u>7 6 6</u>	<u>7 6 6</u>
生産金額 (千円)	<u>2 8 3, 0 3 1</u>	2 3 0, 2 3 0	<u>3 4 8, 5 3 0</u>	<u>3 4 8, 5 3 0</u>
経営体数	<u>4</u> 経営体	4 経営体	<u>4</u> 経営体	<u>4</u> 経営体

(5) 復興に必要な経費

(単位：生産量はトン、その他は千円)

	震災前の 状況	復興1年目	2年目	3年目
経営体数	<u>4</u> 経営体	4 経営体	<u>4</u> 経営体	<u>4</u> 経営体
収 入	<u>283,031</u>	230,230	<u>348,530</u>	<u>348,530</u>
生産量	<u>652</u>	506	<u>766</u>	<u>766</u>
生産額	<u>283,031</u>	230,230	<u>348,530</u>	<u>348,530</u>
経 費	<u>296,801</u>	237,638	<u>349,856</u>	<u>348,231</u>
人件費	<u>29,737</u>	17,300	<u>25,800</u>	<u>25,800</u>
水道光熱代	<u>1,168</u>	1,449	<u>2,280</u>	<u>2,280</u>
種苗代	<u>58,668</u>	39,732	<u>60,060</u>	<u>60,060</u>
餌代	<u>177,093</u>	146,687	<u>222,048</u>	<u>222,048</u>
養殖用資材代	<u>2,122</u>	1,800	<u>1,900</u>	<u>1,900</u>
修繕費	<u>2,651</u>	1,700	<u>1,900</u>	<u>1,900</u>
魚箱・氷代	3,898	3,400	6,200	6,200
販売費	<u>12,776</u>	10,770	<u>16,988</u>	<u>16,988</u>
その他の経費	<u>2,190</u>	1,830	<u>2,490</u>	<u>2,490</u>
損害保険料	<u>1,562</u>	2,000	<u>2,100</u>	<u>2,100</u>
租税公課	<u>1,260</u>	1,000	<u>1,000</u>	<u>1,000</u>
漁業権行使料	<u>80</u>	140	<u>150</u>	<u>150</u>
車両費	<u>799</u>	1,100	<u>1,300</u>	<u>1,300</u>
減価償却費	<u>2,797</u>	6,500	<u>3,250</u>	<u>1,625</u>
施設利用料		2,230	<u>2,390</u>	<u>2,390</u>
収 支	▲ <u>13,770</u>	▲ 7,408	▲ <u>1,326</u>	<u>299</u>
償却前利益	▲ <u>10,973</u>	1,322	<u>4,314</u>	<u>4,314</u>

＜養殖の生産方法＞

ギンザケ養殖の生産期間は、11月から8月まで、残りの2ヶ月間は養殖の準備期間に該当し、生簀の整備及び網の整備等を行い周年作業が生じる。

生産は、11月に内水面から稚魚を搬入し（平均170g）海面養殖が始まる、海面養殖では日々給餌作業を行い、4月中旬からの選別出荷に備える。

4月中旬から選別出荷を行い8月までに出荷作業を完了する。

志津川の生産者は、被災前の22年は生簀の台数を2基で従事しており、被災した23年に各生産者が1基、合計2基を新設し生産を行っていた。

8月で出荷作業が完了させるのはギンザケにおいては水温が20度を超えると生息が出来ず死滅する恐れがあるので漁期終了をさせる。

＜経費等の考え方＞

ホタテ、ワカメ等の兼業養殖をしており、20年から22年の申告書を基に経費を聞き取り、または、水揚げ金額に応じて按分にて計上

- 水道光熱費
 - ・ 燃料費・・・ホタテ作業と重複する作業時間があることを考慮し、3ヵ年平均の半分を計上
 - ・ 水道光熱・・・ギンザケ養殖に使う餌に加水、また、馴致に必要な電気代等を計上
- 種苗代金
 - ・ 種苗単価を924円（23年搬送実績）で計上
- 餌代
 - ・ 直近5ヵ年の実績を基に水揚げ数量に係る成長倍率を雄勝湾支所1.2倍、また、志津川支所は1.1倍の設定にした
 - ・ 飼料単価を221円で計上
 - ・ 寒冷時期に隔日給餌することで震災前3ヵ年平均67.2%から69.8%と2.6%の飼料効率の改善を図り費用の圧縮を狙う
- 資材費
 - ・ 網の防藻加工費等を計上
- 修繕費
 - ・ 水揚げポンプ、養殖施設修理・点検、フォークリフトの整備・点検費、養殖船の保守点検費を計上
- 魚箱・氷代
 - ・ 鮮度保持に必要な氷代
- 販売費
 - ・ 雄勝湾支所は、水揚げ金に対して女川魚市場手数料(3.0%)と支所の内規規定による販売手数料(1.8%)で算出。また、志津川支所については、内規規定による販売手数料(2.25%)と共同販売であるため総合支所の共販手数料(2.0%)を算出し計上。
 - ・ 水揚げ地から市場までのトラック輸送費（スカイタンク1本（約700k入）4,000円×370本（24年190本）
- 損害保険料
 - ・ 施設共済・漁船保険を算出して計上
- 減価償却費
 - ・ 激甚災害復興事業の補助後の償却残高を3年分の償却費を計上
- 施設利用料
 - ・ 共同利用補助事業で購入した船舶、養殖施設の自己負担割合を算出して計上
- 人件費
 - ・ 経費控除後の収益を事業規模等の内容により算出し計上

6 復興後の目標

(1) 生産目標

	震災前		10年後
養殖施設数	雄勝6台 志津川 <u>3</u> 台		雄勝6台 志津川 <u>3</u> 台
陸上施設数	雄勝（冷凍設備ほか） 志津川（なし）	→	雄勝（資材保管庫） 志津川（なし）
養殖業者数	雄勝3名 志津川 <u>1</u> 名		雄勝3名 志津川 <u>1</u> 名
常時養殖従事者数	<u>9</u> 人（経営者含む）		<u>9</u> 人（経営者含む）
臨時雇用者	21人		21人
生産量	<u>652</u> トン		<u>766</u> トン
生産金額	<u>283,031</u> 千円		<u>348,600</u> 千円

(2) 生産体制

ギンザケ養殖に必要な養殖施設は国の養殖施設災害復旧事業において、復旧させることができた。また、同じ餌飼料を使うことで各経営者が作るすべてのギンザケが同じ品質に生産できる。給餌量の適正化を図り、餌飼料効率を改善することにより、餌飼料費にかかる費用の削減に努める。販売は漁協の共同販売により、安定した販売ができる。また、消費者に積極的に情報を発信し、安全・安心で高品質のギンザケを広くアピールするとともに、産地の再構築を推し進める。

7 復興計画の作成に係る地域養殖復興プロジェクト活動状況

実施時期	協議会・部会	活動内容・成果	備考
平成24年 3月21日	第1回宮城県中部 地域養殖復興協議 会	・ 中部地域養殖復興プロジェクト設 置要綱について ・ 会長等選任について	
平成24年 3月22日	第1回雄勝湾支所 伊達のぎん生産者 部会	・ 部会長選任について ・ 中部地域養殖復興プロジェクト計 画書の部会承認について	
平成24年 3月22日	第3回宮城県中部 地域養殖復興協議 会	・ 中部地域養殖復興プロジェクト計 画書の承認について	